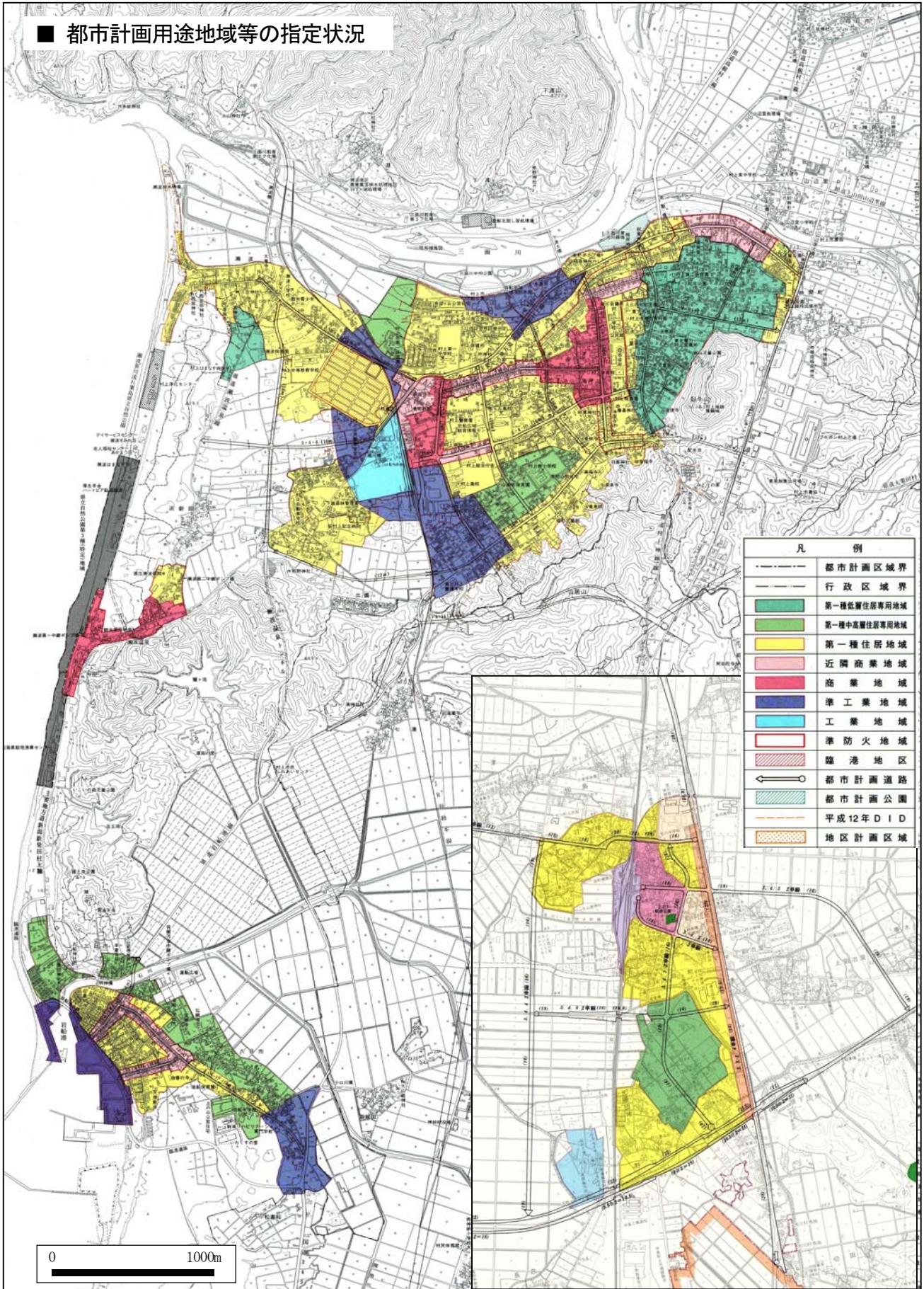


參考資料



1. 現在の都市計画指定状況

■ 都市計画用途地域等の指定状況



2. 合意形成の実施状況

(1) 村上市都市計画マスタープラン策定の経緯

年月日	事 項	内 容
H20.7~9.	住民意向調査	<ul style="list-style-type: none"> ・村上市の特徴、イメージ ・土地利用、都市施設の満足度 ・市民参加についての考え など
H20.11.	第1回 土地利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項の確認 ・都市計画区域再編について
H21. 2.	第2回 土地利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針の確認
H21. 6.19	第1回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項の確認 ・現状・課題の確認 ・将来目標の検討
H21. 8.20 ~24	第1回 地域別懇談会（5会場）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状確認 ・地域整備の目標の検討 ・施策・取り組みの検討
H21. 9.15	第2回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の設定 ・全体構想骨子の検討
H21.12. 1 ~ 3	第2回 地域別懇談会（5会場）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の目標の確認 ・施策・取り組みの確認
H21.12.17	第3回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構想の検討 ・実現化方策の検討
H22. 1.20	第3回 土地利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・計画原案内容の確認検討
H22. 1.26	村上市 都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯の説明 ・計画原案の紹介
H22. 2.15	第4回 策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画原案の確認、検討
H22. 2.22	村上市 都市計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の承認
H22. 3.26	村上市 市議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の報告

(2) 村上市都市計画マスタープラン策定委員会名簿

NO	区分	所属等	氏名
1	学識経験者	前新潟県村上地域振興局地域整備部長	今野 道正
2		前農業委員会委員	高橋 健三
3	一般住民	いわふね青年会議所	高橋 聡
4		にいがた岩船農業協同組合	東 幸夫
5		都岐沙羅パートナーズセンター	斎藤 主税
6		村上地区	澤 治
7		荒川地区	金子 三十美
8		神林地区	矢田 俊司
9		朝日地区	鳥田 弘子
10		山北地区	滝谷 節子
11	関係行政職員	新潟県村上地域振興局企画振興部地域振興課長	相澤 順
12		〃 地域整備部計画調整課長	松川 真
13		〃 農林振興部農村計画課長	風間 隆
14	市職員	村上市企画部長	小田 貞明
15		村上市産業観光部長	増子 太平

順不同、敬称略

：委員長 ：副委員長

(3) 村上市都市計画マスタープラン策定事務局名簿

	所属	氏名
事務局	都市整備部長	五十嵐 孝次
	都市整備部 都市計画課 課長	船山 三喜雄
	〃 課長補佐	東海林 則雄
	〃 計画係	風間 貴志
	〃	鴻島 雅彦
	〃	上村 博
コンサルタント	エヌシーイー株式会社	小見 直樹
	〃	岩淵 和有
	〃	中澤 元孝
	〃	金子 泰徳
	〃	青木 広大

村上市都市計画マスタープラン

第1回 地域懇談会の結果報告

～村上地域～

作成：村上市 都市計画課
TEL：0254-53-2111 FAX：0254-53-2520
E-mail：tokei@city.murakami.lg.jp

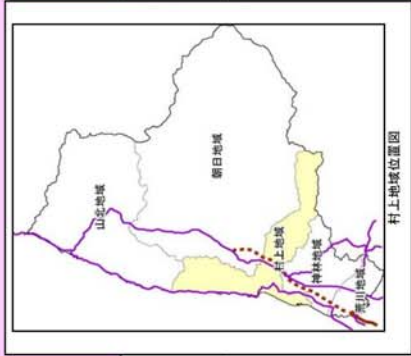
日時：平成21年8月20日（木）

19:00～21:00

会場：村上市役所 大会議室

■ 地域委員会の目的

村上市都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたり、旧市町村単位である5地域ごとに、地域で暮らす市民に直接参加してもらう形で「まちづくりに関する意見」を出していただき、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。



1. 事務局説明～グループ討議

当日は、22名の方に参加していただきました。事務局から都市計画マスタープランと村上地域の現状についての説明を受けた後、4つのグループに分かれ、以下の点についてワークショップ形式で討議を行いました。



▲グループ討議の様子(A班)

▲グループ討議の様子(B班)

▲グループ討議の様子(C班)

▲グループ討議の様子(D班)

【検討内容】

- ① 地域の魅力と課題について
- ② 地域の目標について
- ③ 目標達成のための取組みについて

第1回 地域懇談会 プログラム

- 19:00 開会挨拶
19:05 事務局説明
・地域懇談会の目的と流れ
・地域の現状
19:30 グループ討議
①地域の魅力・課題について
②地域の目標と達成のための取組みについて
③グループ発表
21:00 閉会の挨拶

2. グループ討議で出された意見のまとめ【主な意見の抜粋】

①地域の魅力と課題について (A班・B班)

A 班	
魅力	自然（海・川・山）の魅力、温泉が魅力（瀬波温泉）。新鮮な農水産物に恵まれている。 城下町が魅力である。歴史と祭りが魅力である。人情。歴史の建造物がある。（長屋町屋）
課題	山、海、川を豊かに使ってキレイにしたい。 魅力のある資源を市民のものにもっと出来ないか。 都市計画道路が終点まで完成しないと、地域の魅力はない。 道路が狭くて、交通に危険で困る。災害（火事・地震）が不安。 都市計画道路の早期完成が課題。下水整備。 駅前がさびしい。スーパーの撤退。通学。 商店街の空洞化。中心部の商店が元気無い。 交通人口を更に呼び込む努力が不足である。 他の地域に比べ、土地専が低い。 産業が少ない。若者の働く場所がない。住宅問題。 希望を持って働く場が不足している。子供が少ない。 老人が安心して出来る老人施設が不足している。 高齢者にとって不便。 公共交通の不足。（バス路線が悪い、車のみ）
若者・子ども	
高齢者	
公共交通	

B 班	
魅力	歴史・文化 歴史・文化を感じる町屋の街並が魅力。 生垣のしつらへがされている農観。 歴史文化が高い。村上陣跡のお慰。 鞋の文化を伝える事の出来る陣跡。 酒造・交通 港、高速道が産産の賑わいそう。 自然・農観 村上市民のランドマークであるお城山の環境。 自然が豊か。山から川へそして海に繋がる自然農観。 白砂青松を感じさせる海岸、山紫水明。砂浜の農観。 瀬波海岸で生息し自生している海浜植物群落。 その他 食べ物が新鮮で美味しい。 町屋の居住性はよくない。 街並農観の文化農観に対しての関心度不足。 取、都市計画道路の変更はありえるのか。 都市計画道路で、計画を取り止めた所 都市計画に添って建築した家屋にたいしての対応。 公共交通が不便。 道中が狭く、歩行が心配。特に歩道、自転車道が欲しい。 都市計画道路、羽黒町一環路線の継続。 自然農観を保全する事への課題。 自然農観を保全している関係行高。環境・農観への配慮が欠如。 国道7号沿線の商業地域と既存商業地域との関係がどうなるか。 店が少なくなり、お年寄りにとっては買い物が不便になるか。 町屋風造りの建物は、何に付けても生活するのに、不便。 働く場所が少ない。 町中を流れている窪川が排水路となっている環境。
課題	



▲グループ討議の結果①(A班)



▲グループ討議の結果①(B班)



▲グループ討議の結果①(C班)



▲グループ討議の結果①(D班)



▲グループ発表の様子(D班)



▲グループ発表の様子(C班)



▲グループ発表の様子(B班)



▲グループ発表の様子(A班)

①地域の魅力と課題について (C班・D班)

C 班	
自然環境	自然、三面川、海、山が魅力。大小の河川が〈海へ〉流れている。川風が通る等の気温にも関係してくる。温泉が近くにあり、(親政温泉)
食・物	水がおいしい、上水の質が良い。村上有名の産物が多い。食味が良い。食料の入手面が新鮮な海、山、田産の産物がいっぱいある。(農産品基地がある)
歴史・文化	村上天祭、七夕祭り。(瀬波、若船) 城下町ならではの祭り(人形塚など)が多く、若者の生きがいとなっている。街並み、町屋、細い道。お城山がある。城下町としての要素(城、寺町、町屋)が揃っている。
自然環境	冬はシベリア風が北緯30度では少くを妨げている。建物が増えている。火事が不安。公園が少なく、雨の日に子供が遊べる場所がない。海岸の整備が必要、砂浜が少ない。
課題	人口が減少してきている。雇用の場が少なく、特に若い人。通勤時間がかかる。医療施設が揃っていない。高齢者の歩行範囲 250~500m の範囲に施設不足。道路・交通 道路整備。一般的に道路が狭い。駅前辺りがさびしい。東口一帯自由通路。駅前にはもちろん、北線、南線の列車の煙臭。
その他	防災、バリアフリー。

D 班	
自然・景観	三面川(いよほや盆) きれいな河川※特に水質、日本一の常川 自然が豊か。温泉、山、川、海。
温泉	湯治温泉。夕日に現ながらの風呂はとて良い。
歴史	歴史的建造物(お城山というシンボル) 古い町並みが残っている中心市街地。
食	鮎、いわゆる津コシカカリ、日本酒。
中心市街地	村上市街地をどう考えているのか。国道7号付近はどうなっているのか? 駅前辺りの空き地の活用。空き店舗が多い。中心市街地の下水道の整備が滞っている。郊外店が多く身立って買物が出ない。中心市街地の都市計画、道路が未整備である(大町、小町通り) 世帯分離が進んで一人世帯が多くなっている。市街地と郊外を結ぶ交通手段。旧町並み保存に対してしている。小布施のように集中することが必要。村上市街地の旧市街地の町屋作りは防災上、非常に危険である。歴史的建造物群の白をささげると決めるべき。郊外の大型店の位置づけ。
産業	低賃金。雇員が少ない。魅力ある産業や工場が少ない。農家の良さを生かしてきれていない。
産業	観光施設が不親切。公園や観光施設が少ない。案内板が少ない。観光、住居などゾーン区分が必要。観光看板が少なくここに行けば良いの分からない。
高齢化	公共交通が少ない。老人などの弱者に配慮のない中心市街地は交通事故の危険がある。村上総合病院、老朽化。

②地域の目標について・③目標達成のための取組みについて

目標	具体的な施策	
A	子供、若者が安心して暮らせるまち 若い人も若きも生き生きと希望を持って生きるまち 高齢者・子供が住みやすいまち 高齢な土地、にぎやかな子供老人が暮らせるまち 観光客がたのびやかに暮らせるまち 都市計画道路を開通させる	働き盛りの確保(交通、道路、病院、防災、防災、商業、福祉)。 村上市街地の再開発(西口駅、自由通路)。 松山・三面川沿いに病院、老人施設、運動公園! 定住の場の取り組み(外だけでなく内へも)。 子育て支援の確保と実行。人命尊重を最優先する。 北線からの道路の整備。お城山に天守閣を建設。 施設の有効利用。指導者のバックアップ体制を整える。 働く場所の確保。子育てしやすい環境づくり。 魅力(文化・自然・遺跡・生活)をアピールし子供たちに教えていく。 駅前周辺を計画通り実施して欲しい。 都市計画道路東山町線、若船港線の早期完成。 自然景観・文化景観を大切にしていきたいまちづくり。 人情が溢れる地域のコミュニティの充実。 行政と市民が対等の立場で進めるまちづくり。 自然環境の大切さを守っていく。 町内単位(2~3町内をまとめても良い)で、市民の声を聞く。
B	若者を含む住民が安心・快適に暮らせる活力あるまち [キーワード] 住民、若者、コンパクトなまち 公園、医療福祉、安全・安心・活力	村上市街地の再開発(西口駅、自由通路)。 避難施設(安心して暮らせる駅周辺)。 一次医療の人材を誘致、場所提供(空き家利用)。 食料自給(コンパクト)を推進。学校教員(有名私立高校の誘致)。 企業誘致、関連事業者インターネットを利用した企業。 交流人口の拡大(自分たちが楽しいまち)。 公共交通(小型)の充実。(安価で環境)※利用に合わせた交通。 病院等、既存施設の利用。 都市計画道路の整備(下水道、歩道)。 働く場所、仕事を!! 交流人口の増加、健康、防災(中心市街地に)。 過密地域の整備(町屋の保存)。 マスタープランをプランで終わらせない!住民と市とで相互に確認を。 住民も前向きな提案を。
C	若者を含む住民が安心・快適に暮らせる活力あるまち [キーワード] 住民、若者、コンパクトなまち 公園、医療福祉、安全・安心・活力	村上市街地の再開発(西口駅、自由通路)。 避難施設(安心して暮らせる駅周辺)。 一次医療の人材を誘致、場所提供(空き家利用)。 食料自給(コンパクト)を推進。学校教員(有名私立高校の誘致)。 企業誘致、関連事業者インターネットを利用した企業。 交流人口の拡大(自分たちが楽しいまち)。 公共交通(小型)の充実。(安価で環境)※利用に合わせた交通。 病院等、既存施設の利用。 都市計画道路の整備(下水道、歩道)。 働く場所、仕事を!! 交流人口の増加、健康、防災(中心市街地に)。 過密地域の整備(町屋の保存)。 マスタープランをプランで終わらせない!住民と市とで相互に確認を。 住民も前向きな提案を。
D	人にもやさしく安心して住めるまち 住んでいる人も訪れる人も安全で快適に暮らしやすいまち 若い人が働けるまち 高齢者が便利で安心して暮らせるまち 高齢者にやさしいまち 若者が自慢できるまち	村上市街地の再開発(西口駅、自由通路)。 避難施設(安心して暮らせる駅周辺)。 一次医療の人材を誘致、場所提供(空き家利用)。 食料自給(コンパクト)を推進。学校教員(有名私立高校の誘致)。 企業誘致、関連事業者インターネットを利用した企業。 交流人口の拡大(自分たちが楽しいまち)。 公共交通(小型)の充実。(安価で環境)※利用に合わせた交通。 病院等、既存施設の利用。 都市計画道路の整備(下水道、歩道)。 働く場所、仕事を!! 交流人口の増加、健康、防災(中心市街地に)。 過密地域の整備(町屋の保存)。 マスタープランをプランで終わらせない!住民と市とで相互に確認を。 住民も前向きな提案を。

3. 参考 第1回地域懇談会をふりかえって

■ アンケート回答

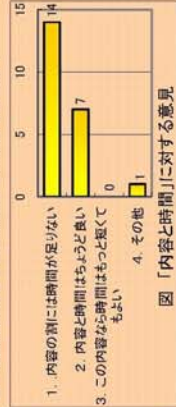
委員会終了後、「ふりかえりシート」を記入して頂きました。主な意見は右記のとおりです。

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか?



問「どのように感じましたか」に対する意見

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか?



問「内容と時間」に対する意見

■ 自由意見

- ・都市計画マスタープラン作成にあたりブレない基本でしっかりやってもらいたい。
- ・もう少し全員でディスカッションする時間があったら良かったのかなと思います。
- ・昔からの約束を反故にせず。都市計画道路を推進・整備してほしい。
- ・もっと多くの市民が集まってもらい、色々な意見ももらいたい説明できたと感じます。気楽に参加できる懇談会にしてもらいたい。
- ・マスタープランが絵にかいた餅にならないようにお願いします。

村上市都市計画マスタープラン

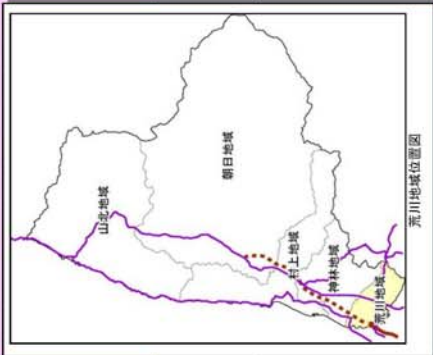
第1回 地域懇談会の結果報告 ～荒川地域～

作成：村上市 都市計画課
TEL: 0254-53-2111 FAX: 0254-53-2520
E-mail: tokei@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年8月21日(金)
19:00～21:00
会場：荒川支所 第1・第2会議室

■ 地域委員会の目的

村上市都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたり、旧市町村単位である5地域ごとに、地域で暮らす市民に直接参加してもらう形で「まちづくりに関する意見」を出していただき、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。



1. 事務局説明～グループ討議

当日は、15名の方に参加していただきました。事務局から都市計画マスタープランと荒川地域の現状についての説明を受けた後、以下の点についてワークセッション形式で討議を行いました。

- 【検討内容】
- ① 地域の魅力と課題について
 - ② 地域の目標について
 - ③ 目標達成のための取組みについて

第1回地域懇談会プログラム

- 19:00 開会挨拶
19:05 事務局説明
・地域懇談会の目的と流れ
・地域の現状
19:30 グループ討議
①地域の魅力・課題について
②地域の目標と達成のための取組みについて
③グループ発表
21:00 閉会の挨拶



▲会場の様子



▲グループ討議の様子(B班)



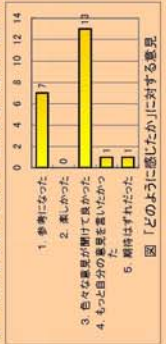
▲グループ討議の様子(A班)

3. 参考 第1回地域懇談会をふりかえって

■ アンケート回答

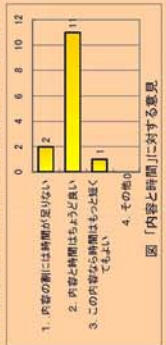
委員会終了後、「ふりかえりシート」を記入して頂きました。主な意見は右記のとおりです。

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「どのように感じましたか？」に対する意見

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「内容と時間」に対する意見

2. グループ討議で出された意見のまとめ【主な意見の抜粋】

①地域の魅力と課題について

A 班		B 班	
自然環境	荒川は清流日本。海・山・川すべてがそろっている。自然豊か。	自然環境	水がきれい。居住環境が良い。運動公園。
交通	交通の要衝。人口増加。ベッドタウン化。	都市機能	運動、憩いの場、仕事場が必要。通勤公園にロープウェイを！
その他	荒川を利用していない。ゴルフ場を自然に戻す。戻した後の維持管理。若者に活気がない。まちづくり会議に若者の参加がない。	自然	荒川のコミ！1つり害のマナー。ホテルが少なくなった。病院がなくなってしまうかもしれない。荒川の“だし”の風。
自然環境	保内川の周辺の道路(渋滞)。	土地利用	住居専用地域はいいのでは？空家の利用。病院跡地を憩いの場に。
人口・若者	集落内の道路や幅が狭い(4m未満)。	交通	高校跡地の活用。ハスが利用されていない。
医療	県立病院の更なる拡充。	産業	農業の未来が心配(高齢化・農業の担い手)。
交通	県外からの住民は人との繋がりをもちにくい。	その他	今ある魅力の活用が必要。
コミュニティ			



②地域の目標について・③目標達成のための取組みについて

A 班		B 班	
目標	若者・高齢者が安心して元気に暮らせる 清涼の郷 (キーワード) 大学・教育機関、若者→人口増、農業の発展・清流、高齢者にやさしく若者に活気、山梨水明、里山整備	具体的施策	働き場の確保(米粉などの、地方産産物を加工販売)。地域サークルに参加し盛り、仕込み作り(情報の共有)。大学の誘致。農業で生きられる仕組み。運動公園をせせらぎゾーンへの整備。駅前一帯の賑わい。
取組み	高坪山の賑わいを活かしたまち暮らしの安全安心に住めるまち。子供と老人が安心して暮らせるまち。荒川がきれいになり、清流を活かしたまち。生まれ変わった人が戻ってくるまち。	取組み	村上のなかで仕事を作り、仕事を増やす。地域に根ざした仕事の創出。(食も) 産地地消。地域との繋がりを活かす。ロープウェイ、バス、抜け道、病院、今ある施設の利用。憩いの場、下水道の整備。職、子育て、教育(まちの魅力についての学習)。

- ### ■ 自由意見
- ・自分の知らなかった町の魅力と課題が再発見できて良かった。意見が反映され、よりよい町になっていけばと思います
 - ・公園や文化施設を充実させ、住みやすい地域。生活道路の歩道の整備を進めて欲しい。
 - ・色々な方の意見が聞けて良かった。公開をしっかりとって欲しい。マスタープランの作成を行って欲しい。
 - ・マスタープランに関して市側の方の考えも知りたい。

村上市都市計画マスタープラン

第1回 地域懇談会の結果報告

～ 神林地域 ～

作成：村上市 都市計画課
TEL：0254-53-2111 FAX：0254-53-2520
E-mail：tokei@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年8月21日(金)
19:00～21:00

会場：神林農村改善センター 小会議室・視聴覚室

■ 地域委員会の目的

村上市都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたり、旧市町村単位である5地域ごとに、地域で暮らす市民に直接参加してもらい形で「まちづくりに関する意見」を出していただき、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。



1. 事務局説明 ～ グループ討議

当日は、9名の方に参加していただきました。事務局から都市計画マスタープランと神林地域の現状についての説明を受けた後、以下の点についてワークショップ形式で討議を行いました。

- 【検討内容】
- ① 地域の魅力と課題について
 - ② 地域の目標について
 - ③ 目標達成のための取組みについて

第1回地域懇談会プログラム

19:00 開会挨拶
19:05 事務局説明
・ 地域懇談会の目的と流れ
・ 地域の現状
19:30 グループ討議
① 地域の魅力・課題について
② 地域の目標と達成のための取組みについて
③ グループ発表
21:00 閉会の挨拶



2. グループ討議で出された意見のまとめ【主な意見の抜粋】

① 地域の魅力と課題について

A 班	
魅力	夏の海水浴、マリンスポーツ、山梨水明、正油の蔵→イベント会場になっている、出入りの住毛の街並み、出格子のある町屋、お構屋の茶会、大池の白鳥、天体望遠鏡、農家の旧家あり、とら屋伝説(人によべる資源)、
課題	R345 観光道路になる、白砂がなくなつた、バスは少ない、人が車らない、農業の振興(米・ねぎ)、魅力はあるが点任→つながらない、



▲グループ発表の様子(A班)

B 班	
魅力	自然環境が良い(きれいな荒川、田園風景)、要害山ある緑地、白砂青松お構屋、荒川が長く貫入、天文台(ホースター神林)、荒川の鮎、食物(お米)、松林のお茶会、多くの白鳥がくわくわく、平林城跡(歴史的遺産)、土器、石器の出土、各集落に築る歴史的建造物、神林という名称はありがたく感じられる、豆加工の産地がある、やわはたネギ、NPO 総合スポーツクラブきらら、ハルパーク、町づくりに熱心な人が多い、温かい女性の言葉、水害への恐れが感じられる、公共交通が少なく高齢者が利用できない、荒川産などR290(冬期間の交通難所、凍結)、都市施設、病院、産婦人科不足、農業振興(後継者育成減少)、神林工業団地未開発、工業団地が空いて、雇用の場が少ない、集落の住人が高齢化したため祭り等が大変、子供が少なく、学校活動ができない、地域に若者がいなく、行事(祭)ができない、
課題	



▲グループ討議の結果①(A班、B班)

② 地域の目標について・③ 目標達成のための取組みについて

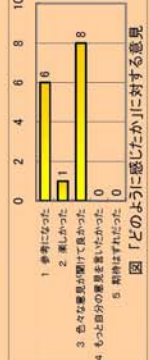
具体的な施策	
A	若者が中心に活動して活気あるまち 高齢者が安全快適に暮らせるまち 出格子と暮入の町並みがきれいなるまち 都会に出た子供がたまには帰りたいと思えるまち 街並、田園風景が誇りに思えるまち 田園を中心とした花と水辺のあふれるまち 自立地域としての連携整備されたまち 高齢者が便利、安心で安全なまち 公共交通の便利なまち 旅が来る村は、親も住みたがるまち
B	堤谷活性化推進協議会での協議を進める。(モデル地区指定(済)) 高齢者の定着確保、高齢者が利用できる施設整備。 若者の仕事の確保(特に女性) 特産物をつくる。堤谷産物産村にする。 集落の再配置、他自立地域との連携 教育、産業振興、コストダウンインフラ整備(行事のアレンジ)、福祉、コミニの整備、集落での「おたすけボランティア」、岩船産米のPR 後継者育成(行政にお願い!) 住民一人一人が地域を見つめ直す。(学校での教育)、自然環境の一度の整備・産業振興。

3. 参考 第1回地域懇談会をふりかえって

■ アンケート回答

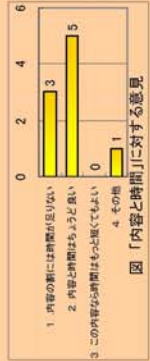
委員会終了後、「ふりがえりシート」を記入して頂きました。主な意見は右記のとおりです。

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「どのように感じましたか？」に対する意見

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「内容と時間」に対する意見

■ 自由意見

- ・ 地元に住んでいながら知らない事が多かった。知ることができて良かった。
- ・ 神林地区は農業村で村が分散しているため方向づけは難しい。もっと多くの集落より参加されなければ総合的に方向づけられないと思う。
- ・ 質問する時間がなかった。「パブリックコメント」等、専門家用語をわかりやすく説明してほしい(市民はわからない)。
- ・ 参加者が少なく、かたよっていた集落の区長さん方に参加を呼びかけたらどうだろうか？

村上市都市計画マスタープラン

第1回 地域懇談会の結果報告

～朝日地域～

作成：村上市 都市計画課
TEL：0254-53-2111 FAX：0254-53-2520
E-mail：tokei@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年8月24日(月)

19:00～21:00

会場：総合文化会館 公民館ホール

■ 地域委員会の目的

村上市都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたり、旧市町村単位である5地域ごとに、地域で暮らす市民に直接参加してもらう形で「まちづくりに関する意見」を出していただき、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。



1. 事務局説明 ～ グループ討議

当日は、4名の方に参加していただきました。事務局から都市計画マスタープランと朝日地域の現状についての説明を受けた後、以下の点についてワークショップ形式で討議を行いました。



▲会場の様子



▲グループ討議の様子



▲グループ討議の様子

【検討内容】

- ① 地域の魅力と課題について
- ② 地域の目標について
- ③ 目標達成のための取組みについて

第1回地域懇談会プログラム

- 19:00 開会挨拶
19:05 事務局説明
・ 地域懇談会の目的と流れ
・ 地域の現状
19:30 グループ討議
① 地域の魅力・課題について
② 地域の目標と達成のための取組みについて
③ グループ発表
21:00 閉会の挨拶

2. グループ討議で出された意見のまとめ【主な意見の抜粋】

① 地域の魅力と課題について

魅力	自然と共生し、川の恵みを大切にす。 食文化がおいしい。四季折々の山菜などが魅力。 岩船米(コシヒカリ)、村上牛、お米、野菜(山菜)自然が豊である。 清流、三面川、高根川が魅力である。 緑の里とICを組み合わせたハイウェイオアシスが出来るのでは？ スーパー林道ストップ(地蔵から)。 大須戸能など伝統芸能。 市内に近く、買い物等に便利である。 鈴が滝、鳴海金山など有力な観光に結びつく景観。 伝統を大切にす。住民同士のつながりがある。スポーツが盛んである。 地域を活性化しようとしている人が多い(高根川が777)高根は他の地域に比べ若い人が多い。
課題	高根川の水量が少ない！！ サル、はくびん(市街地)による農作物の被害。ヒルが多く山に入りにくくなった。 高速道路で田圃のきれいな風景が見えなくなった。うるし畑の減少。 風景が変わってきている(三面川沿線)。ゴミがどこどこでも捨てられている。 公共交通(バス)の利用率が悪い。 朝、通勤、通学の車の混雑。交通が不便(逆に自然が守られるが・・・) 学生が敬遠しにくく(くるみのバスがない)。 田舎のごっつお祭り(ひぐら地蔵、そば)。 何をしても自動車でも旧村上市市に出て行かなければダメ。 子供の遊ぶ大きな公園がない。 空き地が多くなってきている。 水堀橋の下の公園をうまく利用できないか。 若者が少ない。限界集落、子供の減少。 新しく、老地ができて同じ集落でも知らない方が多い。 集落とおしの活動が少ない(スポーツ除く)。 ニート・高齢化仕事がない。



▲グループ討議の結果①

② 地域の目標について・③ 目標達成のための取組みについて

目標	具体的な施策
自然の豊かさまち 自然、産業が調和したまち 働く場所の豊かさまち 住民が生活しやすいまち 住む人が暮れるまち みんなが笑顔で暮らせるまち	交通機関の整備。 商業施設、働く場所の確保。 医療、交通等生活するように、問題となる事の解決。 自然を守りながら産業も発展させていく。 自分が住むところの良い箇所を認識する。 観光の保全。 朝光より住民を優先。 地域で作った作物は地域で食べる(地産地消)。 自然と高速の共存。



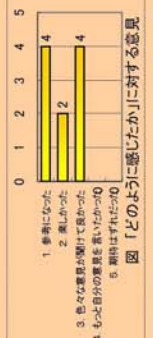
▲グループ討議の結果②③

3. 参考 第1回地域懇談会をふりかえって

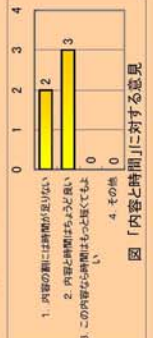
■ アンケート回答

委員会終了後、「ふりかえりシート」を記入して頂きました。主な意見は右記のとおりです。

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



村上市都市計画マスタープラン

第1回 地域懇談会の結果報告

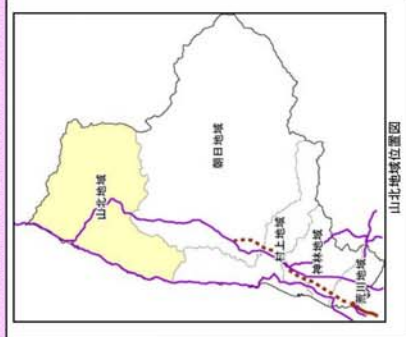
～山北地域～

作成：村上市 都市計画課
TEL: 0254-53-2111 FAX: 0254-53-2520
E-mail: toket@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年8月24日(月)
19:00～21:00
会場：さんぼく会館 集会室

■ 地域委員会の目的

村上市都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたり、旧市町村単位である5地域ごとに、地域で暮らす市民に直接参加してもらう形で「まちづくりに関する意見」を出していただき、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。



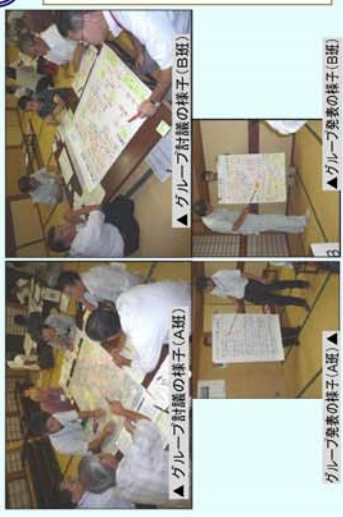
1. 事務局説明～グループ討議

当日は、9名の方に参加していただきました。事務局から都市計画マスタープランと山北地域の現状についての説明を受けた後、以下の点についてワークショップ形式で討議を行いました。

- ① 地域の魅力と課題について
- ② 地域の目標について
- ③ 目標達成のための取組みについて

第1回地域懇談会プログラム

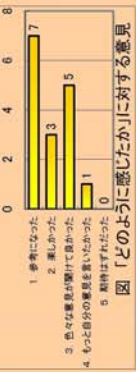
19:00 開会挨拶
19:05 事務局説明
・ 地域懇談会の目的と流れ
・ 地域の現状
19:30 グループ討議
① 地域の魅力・課題について
② 地域の目標と達成のための取組みについて
③ グループ発表
21:00 閉会の挨拶



3. 参考 第1回地域懇談会をふりかえって

■ アンケート回答

委員会終了後、「ふりかえりシート」を記入して頂きました。主な意見は右記のとおりです。



2. グループ討議で出された意見のまとめ(主な意見の抜粋)

① 地域の魅力と課題について

A 班		B 班	
魅力	海、芭川流が魅力。海岸線が美しい。森林、大田の体などの自然(植物、鳥、)。自然的資源が多くある。季節の変化が素晴らしいが美しい。生物相も多彩。お米がおいしい(大毎)。取栗イベント(山籠田)。魚、鮎、鮎、八幡様。堀づくり、アツマキ。日本国二ホンゴクインマ治。各地区で行われているイベント。	自然	海、山、川の自然。豊かな森林、森林公園。四季の食文化。食
課題	全体山間地域。高齢化、冬の雪、世帯の減少。急傾斜地災害。災害時の避難場所、高齢者保護。風害、インフラ劣化。交通事故(わき見運転)。公共交通が不便、通勤交通。道路整備(高速道路のアクセス)。他地区とを結ぶ交流が少ない。(特に冬)子供が少ない、雇用の場が少ない。	魅力	人情 人材
		観光資源	芭川流、観光客
		生活利便	生業を中心とした体験メニュー豊富。
		文化	匠の文化が残っている(味噌、アツマキ)。病院等の不備、小児科がない。
		生活利便	船泊に比べて物価が高い。子供の遊び場、レジャー施設が少ない。
		自然	環境保全が難しくなっている。
		観光	観光施設がない。
		活力	雇用の場が少ない、少子化、人口減少。

② 地域の目標について・③ 目標達成のための取組みについて

A		B	
目標	働く場があっても若者が安住できるまち 住人が安全、安心なまち 年をとっても自然の中で生きられる暮らしを感じられるまち 生活を託す人々が常に故郷を感じるまち 住民が助け合う 老人会が子供たちとのイベント開催	具体的施策	高齢者が動きやすい交通体制。 地域の茶の間で絆づくり(11月100円・20名。集落での横のつながりを作り出す工夫(空き家活用)。 現公民館を常に交流の場として活用(施設・設備)。 男性の一人暮らしを共同生活に。 インフラ整備(エック、パリアフリー、支え合い)。 自然の豊かさを発信。 健康、生涯現役、人間らしさ、うるおいのある生活。
結果	若者が安心して定住できるまち 若者が安住しやすくなるまち 若者、山北ファンが安住できるまち 全世代が参加して、地域を育てるまち 自然豊かで活力あるまち 【キーワード】 若者・山北ファン、そして全世代の参加 定住のふるさと		企業の誘致による雇用の確保。 農園による特産物の開発。 老人の元気(元気、交通、医療)。 地域おこしの為、各集落で有志の会(4～5名)立ち上げ。 コミュニティビジネスの創出と展開。 子育て、教育の安心(経済交流、公共交通(通学)の充実)。 自然環境の保全(外の人の参加。例、里山づくり(オーナー制度)。 若(生業)の伝承(小さい子供の頃から)の教育。 住民参加の仕組みづくり、誇りの持てるふるさとづくり。 医療施設の充実(診療科の充実、まずは小児科)。 地元祭りの参加、盛り上げ、伝統文化継承。



▲会場の様子

- ・ 多くの人の意見を聞くことができ、参考になった。
- 是非、このような場がより多く開催された方がよいと思う。
- ・ 懇談会の意見が本当に真剣に計画づくりに役立ててもらいたい。
- ・ 10、20年後足かせになるような都市計画は困る。
- ・ 支所の権限アップ、支所に企画案を(各地区の地域づくりの為)
- ・ 若い人も参加した会が良い。

村上市都市計画マスタープラン

第2回 地域懇談会の結果報告 ～ 神林地域～

第2回地域懇談会の流れ
 19:00 開会挨拶
 19:05 事務局説明
 ・第1回地域懇談会の報告
 ・地域別構想(案)について
 19:30 グループ討議
 ・地域別構想(案)について
 20:45 閉会の挨拶

作成：村上市 都市計画課
 TEL：0254-53-2111 FAX：0254-53-2520
 E-mail: tokei@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年12月2日(水) 19:00～20:45
 会場：神林農村環境改善センター 視聴覚室・小会議室

■ 第2回地域懇談会開催の目的

8月実施の「第1回地域懇談会」で出された意見やアンケート調査結果をもとに、事務局が策定した村上市都市計画マスタープランの「地域別構想(案)」を参加者に提示し、その内容について幅広く意見を述べてもらいます。この結果をもとに、計画案の精度をさらに高めることを目的とします。



1. 事務局説明～グループ討議

当日は5名の方に参加していただきました。地域別構想案の説明後、ワークショップ形式で討議を行いました。そこで出された主な意見は以下のとおりです。

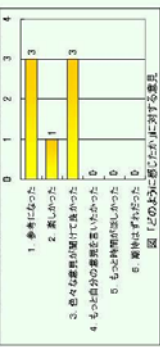
神林地域

案全般	計画案は総合的・神林らしさに特化した計画を。 農業・林業・観光・子育てなど、多岐にわたる地域づくりを。また、自然環境・景観維持は必ずしも必要ではない。
神林の特徴	田園風景
キーワード	山形景観～新着市街に巨大建築物がない・神林道の駅は可能。 地域外の人への宿泊できる施設と体育館の活用。 都会からのスポーツ合意、受け入れ、産校活用(入込額に争优)。 農業の再生。 農業は加工しなくて済む・そのための施設整備。 国産物ならぬ市産、村上のスポーツ。 自然環境の保護、森林の手入れ。荒川の清流、空気。 松林の手入れ(汗・ノコギリ)再生で、雪は絶対に入らない。 お祭りの会合と松林の活用、松の木の活用(お祭り・イベント)の活用。 とりもたせよう白砂青松。 雄谷と雄谷温泉の連携。 雄谷から雄谷温泉までの遊歩道整備。 滑走してしまつた行事の復活事業。 集落での活動に格差がある(南田中では子どもが参加できる行事がなくなつた)。リーダー育成が必要。
地点	
農業	
自然環境	
雄谷集落	
コミュニティ	



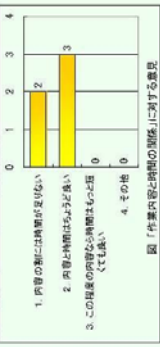
2. 結果のふりかえり

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「作業内容と時間との関係はどうか？」

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「作業内容と時間との関係はどうか？」

【自由意見】

- ・参加者の集まりが限られている。より多くの集落からの参加が望ましいと思うが。
- ・もっと人を集め、知恵を真のよう。

村上市都市計画マスタープラン

第2回 地域懇談会の結果報告 ～ 荒川地域～

第2回地域懇談会の流れ
 19:00 開会挨拶
 19:05 事務局説明
 ・第1回地域懇談会の報告
 ・地域別構想(案)について
 19:30 グループ討議
 ・地域別構想(案)について
 20:45 閉会の挨拶

作成：村上市 都市計画課
 TEL：0254-53-2111 FAX：0254-53-2520
 E-mail: tokei@city.murakami.lg.jp

日時：平成21年12月2日(水) 19:00～20:45
 会場：荒川支所 2階会議室

■ 第2回地域懇談会開催の目的

8月実施の「第1回地域懇談会」で出された意見やアンケート調査結果をもとに、事務局が策定した村上市都市計画マスタープランの「地域別構想(案)」を参加者に提示し、その内容について幅広く意見を述べてもらいます。この結果をもとに、計画案の精度をさらに高めることを目的とします。

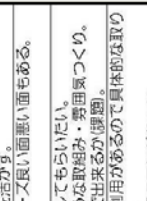


1. 事務局説明～グループ討議

当日は9名の方に参加していただきました。地域別構想案の説明後、2つのグループに分かれ、ワークショップ形式で討議を行いました。そこで出された主な意見は以下のとおりです。

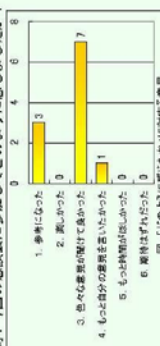
荒川A班

荒川活用	荒川にキャンプ場 釣りのできる川をちっとも活かす→経済効果へ。 自然は地元の人をもちっと利用していた。
空施設	荒川体育館の施設。 荒川の活用(遊歩道)→交流の場に変えて、「子供と大人のふれ合い」 旧坂町体育館の施設。 高齢者の確保。子供たちは近くに仲間がいない。 高層者と子供たちが一緒に仕事つくりが重要。 中東工業団地(三幸、丸幸、ヤマト)誘引。 保育園の施設、防災拠点。 駅前にとびのり(20軒くらい)あり。 駅前の飲食店、20軒くらいあり。 一種底層は小学校に隣りで開発進まない。 企業誘致は不可。ハットダウンとして建設。 交通アクセス(ターゲッティング)に農産物を販売。 関川あたりからも飲みに来る。 米を積極的に販売。 米を積極的に販売。 田の活用(力強)の検討 ソーラー発電など。
子ども・高齢者	
市街地整備	
交流	
自然	



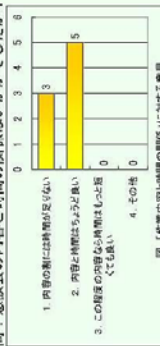
2. 結果のふりかえり

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「作業内容と時間との関係はどうか？」

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「作業内容と時間との関係はどうか？」

【自由意見】

- ・地区内の団体などの中で中心になっていないことは如何でしょうか。
- ・一歩ずつ実現して欲しいです。
- ・懇談会で出た話を少しでも行政でやってもらいたい。

村上市都市計画マスタープラン

第2回 地域懇談会の結果報告 ～朝日地域～

第2回地域懇談会の流れ
 19:00 開会挨拶
 19:05 事務局説明
 ・第1回地域懇談会の報告
 ・地域別構想(案)について
 19:30 グループ討議
 ・地域別構想(案)について
 20:45 閉会の挨拶

日時：平成21年12月3日(木) 19:00～20:45
 会場：朝日支所 第一会議室

■第2回地域懇談会開催の目的

8月実施の「第1回地域懇談会」で出された意見やアンケート調査結果等をもとに、事務局が策定した村上市都市計画マスタープランの「地域別構想(案)」を参加者に提示し、その内容について幅広く意見を提出してもらいます。この結果をもとに、計画案の精度をさらに高めることを目的とします。

1. 事務局説明～グループ討議

当日は10名の方に参加していただきました。地域別構想案の説明後、ワークショップ形式で討議を行いました。そこで出された主な意見は以下のとおりです。

朝日地域
農業と交流 農林漁業の振興で外から人を呼び込ませ、大須戸の観光農園でかきやきとさんぽを推進。古栗路では枝豆を栽培し、都市(栗栗)との交流を行っている。
冬の生活 スキー場。高根～大間間でスノーモービル。
生活基盤 道路の幅が狭い。冬季農産物の道路の幅員(車道+歩道)。
高速整備 高速度で走ると、医療などが便利になる。
都市施設 こみだり児童館には、遊具利用など周辺住民への還元があるといふ。小学校は多いが児童数はかくなっている。
自然環境 川が汚れている。(米訪者のマナー)。こみだりが多い。(米訪者のマナー)。森林を整備し、取巻路を設ける。
交流 高根と大寺(山北)の交流を活性化させる。空家や空き地の活用は都市計画だけでは解決できない。総合計画で議論すべき。観光客が楽しめるのも良いが、地元住民のための整備も必要。
その他 集落機能維持のための「住宅や利便施設の建設許可」は現状でも可能。朝日での交流を活性化するために、鉄道で訪れる米訪者のため朝日駅周辺の整備(駐車場など)も必要。



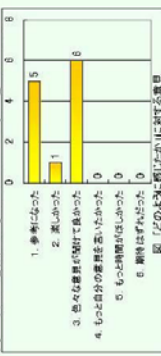
▲事務局説明の様子

▲討議の様子

▲討議の成果

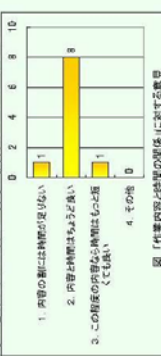
2. 結果のふりかえり

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「作業内容と時間との関係」に対する意見

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「作業内容と時間との関係」に対する意見

【自由意見】

- ・もっとたくさんの方が集まれば、色々な意見が聞けると思いました。前回よりも多くの方が参加していただいたので良かったです。
- ・知らない事がたくさんあったので参考にになりました。

村上市都市計画マスタープラン

第2回 地域懇談会の結果報告 ～山北地域～

第2回地域懇談会の流れ
 19:00 開会挨拶
 19:05 事務局説明
 ・第1回地域懇談会の報告
 ・地域別構想(案)について
 19:30 グループ討議
 ・地域別構想(案)について
 20:45 閉会の挨拶

日時：平成21年12月3日(木) 19:00～20:45
 会場：さんぽく会館 第二会議室

■第2回地域懇談会開催の目的

8月実施の「第1回地域懇談会」で出された意見やアンケート調査結果等をもとに、事務局が策定した村上市都市計画マスタープランの「地域別構想(案)」を参加者に提示し、その内容について幅広く意見を提出してもらいます。この結果をもとに、計画案の精度をさらに高めることを目的とします。

1. 事務局説明～グループ討議

当日は6名の方に参加していただきました。地域別構想案の説明後、ワークショップ形式で討議を行いました。そこで出された主な意見は以下のとおりです。

山北地域
キーワード 海、山、川。両方あっての山北。漁業、林業、農業は欠かせない。→得采の目的も同様。
広域との連携 山北内での連携も重要だが・・・村上とのつながりも大切。
整備方針 海川内では「村上を代表する」というように全国にほれる。
自然環境の保全と活用 地域と他地域の人も含め活動してほしい。→グリーンツーリズムへの展開も。民間と協働する為、様々な規制をゆるめてほしい。大川、勝木川の鮎は他県からも訪れる。
地域の課題 子供の遠征学習をもっと強く出すべき。整備の色が濃い。ソフト面ももっと磨いたらどうか？安全、安心のまちづくり→避難時の役割分担、345号も重要。急激高時に7号345号どちらかが確保できるように。
安全な地域づくり 風による電車が止まることも問題。国道へのアクセスが重要。緊急時の医療対策はどうするの？防災意識の啓発も重要。赤カブ、出羽街道。
地域固有の生活の保全と活用 地産地消を進めるは細み作り。医療、介護、子育てが入っていない。
その他



▲事務局説明の様子

▲討議の様子

▲討議のまとめ

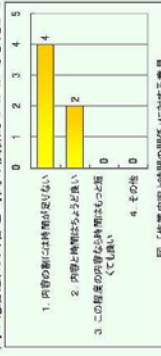
2. 結果のふりかえり

問：今回の懇談会に参加してどのように感じましたか？



図「作業内容と時間との関係」に対する意見

問：懇談会の内容と時間の関係はいかがでしたか？



図「作業内容と時間との関係」に対する意見

【自由意見】

- ・事前に資料が欲しい。重複している作業もあると思うので他の作業の情報も欲しい
- ・マスタープランが住民の希望につながるよう!

村上市都市計画マスタープラン

平成22年3月 策定

発行 平成22年3月

編集 村上市 都市計画課

〒958-8501 新潟県 村上市 三之町1番1号

電 話：0254-53-2111（代表）

F A X：0254-53-3840

E-mail：tokei.city.m rakami.lg.

村上市の都市計画(マスタープラン)合言葉

- む 無理・無駄のない
- ら 来夢・来人の
- か 環境に配慮した
- み 未来を見つめた
- し 自然環境を保全する
- の 農村環境を壊さない
- と 都市環境に安らぎと潤いをもたらす
- し 市民協働の
- け 景観形成を重視した
- い 5つの地域の特徴を活かした
- か 活力があり自立した
- く 暮らしを守り持続可能な

まちづくりを進めます!!